

科目名称	単位認定留学 I				ビジネス・キャリア ()	オフィス情報 ()
英文科目名称	MKJC-EC Study Abroad I				グローバル・コミュニケーション (○)	医療事務・医療秘書 ()
科目コード	531448	授業形態	演習	単位数	2	
教員氏名	水島 孝司		年次配当	1 年次	前期	ホテル・観光 () 大学編入 ()
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/>		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> ・無	
授業概要 及び授業方法	<p>1年次後期に3か月または6か月の間、渡米して、エドモンズ・カレッジ(EC)での単位認定留学に参加を希望する学生が留学に必要な諸手続きを行い、留学生活に関する基礎知識を身につけ、各自の留学の目的・目標を設定するのを支援する授業である。IESL Application, Housing Application, 学生ビザ申請書類はすべて英語で記入し、オンラインで提出する。学生は授業外で大きく次の3つを行う。</p> <p>(1) パスポート、英文高校成績証明書、英文銀行残高証明書を入手する。 (2) 7月上旬頃に大阪にあるアメリカ領事館で学生ビザ面接を受ける。 (3) 渡米後1週間以内に、ホストファミリーに短大へのメール送信を依頼する。 *本授業は、国際交流課職員のサポートを受けながら実施する。</p>					
関連する科目	アメリカの生活と文化、単位認定留学Ⅱ・Ⅲ				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(授業の流れ、成績評価、留学の意義・目的) 2. IESL Application入力のためのID、パスワードの申請 3. IESL Applicationの下書き、Credit Authorization Formの説明 4. IESL Applicationの入力、提出。申請料のクレジットカード決済 5. Housing Applicationの下書き 6. Housing Applicationの入力、提出。申請料のクレジットカード決済 7. 学生ビザ申請書類(DS160の下書き) 8. 学生ビザ申請書類(DS160の入力) 9. 学生ビザ申請書類(DS160の入力の続き)、学生ビザ申請料のクレジットカード決済 10. 留学生確認システム(SEVIS)への登録、登録料のクレジットカード決済 11. アメリカ領事館での面接日の予約、面接準備(必要書類の作成) 12. アメリカ領事館での面接準備(持参書類の確認、英語面接の練習) 13. 航空券、手荷物、保険に関する説明 14. 留学先での安全確保、在留届の記入方法 15. 結団式、留学の目的・目標の発表、留学中・帰国後の課題の説明 					
授業時間外の 学 習	<ul style="list-style-type: none"> ・ECのホームページを閲覧し、興味をもった内容を授業で共有できるように準備する。 ・外務省「海外安全ホームページ」を閲覧する。 ・『2022年度南九州短期大学単位認定留学ガイドブック』を読む。 (学習に係る標準時間は週約1時間) 					
授 業 の 到 達 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・EC留学に必要なすべての書類を完成させ、入学許可証(I-20)を得る。 ・学生ビザ取得のための面接(大阪にあるアメリカ領事館で実施)に合格する。 ・安全な留学に必要な基礎知識を身につける。 ・留学の目的・目標を明確に設定し、分かりやすく発表できる。 ・ホストファミリーと一緒に『単位認定留学ガイドブック』を読んで、双方で内容を理解し同意した旨を伝えるメールを短大に送信してもらえるように英語で依頼できる。 					
課題に対する フィードバック	学生が設定した留学の目標に対してコメントする。	評価方法・基準			留学申請各種書類の期限内完成・提出(50点)、学生ビザ面接の合格(10点)、小テスト(10点)、留学の目的・目標の設定・発表(10点)、ホストファミリーからのメール(10点)、参加度(10点)	
テ キ ス ト	『2022年度南九州短期大学単位認定留学ガイドブック』(受講者には無料で配布)					
参 考 書	随時、授業で紹介する。					
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次後期に3か月間、渡米しての単位認定留学を希望する学生は2年次前期にこの授業を履修すること。 ・留学の諸手続きに必要な各種書類や学生名義クレジットカードの入手が遅れる場合は、提出締切前に必ずその旨を担当教職員に連絡して指示を仰ぐなど、責任ある行動を取ってほしい。 					